

過去を記録し未来へ伝える。



6月9日は 「国際アーカイブズの日」

国際公文書館会議（International Council on Archives・ICA）は文書や記録の保存や利用について、世界中の公文書館の相互の連携を強め、活動の発展を目指して、ユネスコ（UNESCO）の支援の下、1948年6月9日に発足しました。

この発足の日を記念して、ICAは毎年6月9日を「国際アーカイブズの日」と定め、広く活動の周知を図ることとしました。

文書や記録を残すこと、それは国や地方公共団体だけでなく、企業や団体にとっても非常に大切なことです。この日をきっかけに、それぞれが作成、取得したいろいろな文書や記録を保存し、利用することの大切さをもう一度考えてみましょう。

（国立公文書館テラントガ）

板橋区公文書館